

水内川だより

平成27年9月15日号
広島市立湯来東小学校

秋の夜長，静かな里に虫の音の響き渡る季節となりました。前期授業ももう少し。まとめの時期になりました。前期のまとめをしっかりとするとともに，後期に向けての学びの連続性を見据えた取り組みをしっかりとしていきたいと思えます。

洪水想定避難訓練

9月1日の「防災の日」制定は，1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。そして「防災の日」は，「政府，地方公共団体等関係諸機関をはじめ，広く国民が台風高潮，津波，地震等の災害についての認識を深め，これに対処する心構えを準備する」こととしています。また，「防災の日」を含む1週間(8月30日～9月5日)を「防災週間」として，様々な国民運動が行われます。

昨年8月20日に土砂災害が起き，甚大な被害が起こった広島市では，教育委員会から，防災週間期間中に洪水・高潮による浸水が予想される区域に所在する小学校は，避難訓練を実施するよう指示がありました。

本校は9月2日(水)に浸水対応の避難訓練を行いました。水内川の水位が上がり，氾濫のおそれがあるという想定で，川の水位の変化に応じて垂直避難(高い所へ避難する)という訓練をしました。本校では，浸水対応の避難訓練は，今回初めて行いました。

このところの大雨で，8月25日，9月1日に湯来東小校区では土砂災害発生危険のため，避難勧告が出されました。8月25日の時には学校前の水内川の水位が，水位看板の氾濫危険水位を超えるほどの勢いで，洪水が起こりそうになりました。

9月10日には茨城県の鬼怒川が決壊，9月11日には宮城県の渋井川が決壊し，洪水被害が出ました。

過去，平成17年・18年には，台風と秋雨前線の影響で大雨となり，学校のすぐ近くの国道が崩落するという災害もあった地域です。この環境の中で，身近に起こりうる災害から自分の安全を守るために訓練そして「自分の命は自分で守る力」を育むことが必要です。また，自分ができる行動の一つとして，「しっかり聞く」ということ。それは，いつの時にも大切であるということも学びました。



「ありがとうの木」を育てよう！！

9月の生活目標は『友だちを大切にしよう』です。そこで、運営委員会から提案し、「ありがとうの木を育てよう！」と全学級で取り組んでいます。各教室に「ありがとうの木」を掲示して、「ありがとう」という気持ちになったことを、葉っぱの形の紙に書いて貼っていきます。どの学級も「ありがとうの木」に葉っぱががどんどん増えています。

毎年、9月は広島市の小・中学校では「いじめ防止取組月間」として、各学校独自のアイデアを出して取り組みます。「ありがとう」と言ってもらえる人を増やすことは、「いじめはやめよう！」と呼びかけるよりも良い取組だと思います。子どもたち一人一人が本当に「湯来東小学校は楽しい学校だ」と思える学校になるように、子どもたちも先生たちも頑張っていきたいと思います。

右の三本の幟旗は、「いじめ撲滅プロジェクト」の協同宣言文(青と緑の旗)を広島市PTA協議会主催で広島市立中学校生徒会が標語を考えたものです。ピンクの旗は、広島市教育委員会主催のいじめ問題対策連絡協議会が作成したものです。この旗も子どもたちに紹介しました。



夏休み作品展

9月2日～8日まで、夏休み作品展を家庭科室で行いました。工作、手芸、習字、絵画、科学研究など個性あふれるいろいろな種類の作品作りに、子どもたちは頑張ったんだなあと感じました。また、保護者の方も一緒に考えたりアドバイスされたりしていただいたことに感謝いたします。この作品は、夏休みのいい思い出になることでしょう。

